

## 題材名 日本音楽の魅力 1 ～雅楽を味わおう～

### 1、指導内容

学習指導要領 第1学年 [B鑑賞ア・ウ]の指導事項から設定する。

### 2、教材

雅楽 「越天楽」 日本古曲

### 3、指導目標と評価規準

	観点1 音楽への関心・意欲・態度	観点2 音楽的な感受や表現の工夫	観点4 鑑賞の能力
題材の目標	(1) 和楽器の音色や響きと雅楽のリズムや旋律の特徴に関心を持ち、曲の雰囲気や曲想を感じ取って意欲的に聴く。	(2) 和楽器の音色と雅楽のリズムや旋律の特徴を感じ取る。	(3) 和楽器の音色と雅楽のリズムや旋律の特徴を意識して、楽曲全体を聴く。
題材の評価規準	・和楽器の音色や響きと雅楽のリズムや旋律の特徴に関心を持ち、意欲的に聴こうとしている。	・和楽器の音色と雅楽のリズムや旋律の特徴を感じ取っている。	・和楽器の音色と雅楽のリズムや旋律の特徴を感じ取り、曲想がもたらす美しさを味わって楽曲全体を聴いている。
学習体の活動の評価動規準における	それぞれの楽器の音色や響きに関心を持って聴いている。  雅楽のリズムや旋律の特徴と曲想の関わりに関心を持って聴いている。	それぞれの楽器の音色や響きを感受している。  雅楽のリズムや旋律の特徴と曲想の関わりを感じ取っている。	それぞれの楽器の音色や響きを意識して楽曲全体を聴いている。  雅楽のリズムや旋律の特徴と曲想の関わりを感じ取って楽曲全体を聴いている。

4 , 指導と評価の計画 ( 3 時間)

時間	ねらい・学習活動	題材の評価規 準との関連	評価方法等
1	<p>雅楽の楽器について、音色や構造、役割に関心を持ち、「越天楽」を鑑賞する。</p> <p>1 , 舞楽「陵王」と管絃「雅楽」のそれぞれ一部分を映像付きで鑑賞し、雅楽の雰囲気をつかむ。</p> <p>2 , どの国のいつ頃の時代の音楽か、そう考えた理由について発表し合っていく。</p> <p>3 , 演奏している楽器の音色についての意見をもとに、「越天楽」に用いられている一つ一つの楽器の音色やを構造を知覚する。</p> <p>4 , 楽器の音色や役割に注目して、「越天楽」を鑑賞することができる。</p>	<p>観点 1</p> <p>観点 2 -</p>	<p>&lt; 観察 &gt;</p> <p>( 発言内容や挙手による確認)</p> <p>&lt; 学習シート &gt;</p> <p>( 学習シートへの記入の状況)</p> <p>( 学習シートへの記入)</p>
2	<p>「越天楽」のリズムや旋律の特徴と曲想とのかかわりを感じ取って鑑賞する。</p> <p>1 , 前時の 2 の部分で出た意見の中から、リズムや旋律についてものを再確認する。</p> <p>2 , 打楽器を取り出して聴き、リズムの特徴について、気づいたことを発表し合う。</p> <p>3 , 箏と龍笛を取り出して聴き、旋律の特徴について、気づいたことを発表し合う。</p> <p>4 , シンセサイザー、バスドラム、スネアドラム・トライアングルを代用楽器として、グループでリズムと旋律の特徴を確認する。</p>	<p>観点 1 -</p> <p>観点 2 -</p>	<p>&lt; 観察 &gt;</p> <p>( 発言内容や挙手による確認)</p> <p>( 学習シートへの記入の状況)</p> <p>&lt; 学習シート &gt;</p> <p>( 学習シートへの記入)</p> <p>( 発言内容の観察)</p>

3	<p>雅楽のリズムや旋律の特徴と曲想の関わりを感じ取って楽曲全体を聴いている。</p> <p>1, 「越天楽」を通して聴き、学習シートに本題材で学んだことを振り返るとともに、学習内容を生かした批評文を書く。</p> <p>2, お互いに批評文を発表し合って交流する</p>	<p>観点4 -</p> <p>観点4 -</p>	<p>&lt; 批評文 &gt;</p> <p>( 批評文への記入の状況 )</p>
---	--	---------------------------	--